

## 「(速報)バーゼル規制の見直しの概要」

### セミナーのご案内

主催: 有限責任監査法人 トーマツ

去る 12 月 10 日にバーゼル委員会より、第二次市中協議文書「信用リスクに係る標準的手法の見直し」が公表されました。これは 2014 年 12 月に公表された市中協議文書に対するコメントを踏まえ作成されたものです。

この市中協議文書の公表に先立ち、11 月 13 日にバーゼル委員会より、「金融危機後の規制改革の最終化に向けた進捗に関する G20 首脳向け報告書」(原題: Finalising post-crisis reforms: an update A report to G20 Leaders)が公表されていきました。当該報告書において、2016 年末にかけて自己資本比率規制に関して多数の見直しを検討している旨、当該市中協議文書を含めて、2015 年末から 2016 年初にかけて、複数のテキストを公表する旨が示されていました。

項目		スケジュール(予定)		作業概要
		市中協議	最終化	
標準的 手法	信用リスク	2015年末前後	2016年末までに	信用リスクについて、 <b>外部格付けの機械的でない使用</b> を含んだ簡素化
	市場リスク	協議済	2015年末までに	市場リスクについて、リスク感応度を向上させ内部モデルのフォールバックとして機能させる。
	オペレーショナルリスク	2015年末までに	2016年末までに	オペレーショナルリスクの見直し
内部 モデル	信用リスク	2015年末までに	2016年末までに	信用リスクについて、 <b>規制資本の算出に適さない範囲においてモデル化の選択肢を狭める。</b>
	市場リスク	協議済	2015年末前後	市場リスクの内部モデルの見直し
	オペレーショナルリスク	2015年末前後	2016年末までに	オペレーショナルリスクについて、 <b>先進的計測手法を廃止する。</b>
レバレッジ比率の最終化および標準的手法に基づく資本フロア		協議済	2016年末までに	リスクアセットの算出にかかるばらつき、モデリングのエラーを低減させる。
リスク ウェイト フレーム ワーク	証券化取引のSTC要件	協議済	2016年 下半期前までに	証券化取引のSTC要件について最終化を行う。
	銀行勘定の金利リスク	協議済	2016年中に	銀行勘定の金利リスクについて、エクスポージャーに対する資本を充実させ、また、銀行勘定とトレーディング勘定間の規制裁定を制限する。
	ソプリンの取扱い	-	-	ソプリンの取扱いについて <b>慎重に検討中</b>

見直しの対象には、オペレーショナルリスクの標準的手法のほか、信用リスク及びオペレーショナルリスクの内部モデルに関する事項も含まれており、いずれも本邦の金融機関に少なからず影響を与えることが予想されます。

斯かるなかで有限責任監査法人 トーマツは、「(速報)バーゼル規制の見直しの概要」と題したセミナーを開催いたします。本セミナーにおいては、2015 年末から 2016 年初に公表されたテキストのうち、特に本邦の金融機関に与える影響が大きいと思われる事項の概要についてご説明を予定しております。金融機関のリスク管理及び自己資本管理のご担当者様に有益なものとするべく、準備いたしております。

ご多忙中、また非常にタイトなスケジュールのご案内となりますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

■日時及び内容

時 間	内 容	講 師
14:00 ~ 15:00	バーゼル規制の見直しの概要* ✓ 信用リスクの標準的手法 ✓ 内部格付手法 ✓ オペレーショナルリスクの標準的手法	シニアマネジャー 浅井 太郎 シニアマネジャー 飯野 直也
15:00 ~ 15:15	質疑応答、アンケート	

\* テキストの公表スケジュールによって、テーマは変更になる場合がございますので、予めご了承下さい。

- 開催日時 2016年1月18日(月) 14:00~15:15
- 会場 有限責任監査法人 トーマツ 有楽町オフィス セミナールーム  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル 北館 17階
- 定員 80名  
同業者のお申込みや定員オーバーの場合には、お断りする場合がございますので、ご了承下さい。
- 対象 金融機関のリスク管理及び自己資本管理のご担当者様
- 受講料 無料
- 申込期限 2016年1月14日(木) 17:00
- 申込方法 Webサイト( <http://www.deloitte.com/jp/semi2800> )よりお申込み下さい。  
本セミナー申込に際しては、株式会社シャノンのサービスを利用しています。  
ご回答いただく内容は、SSL暗号化通信により内容の保護を図っております。  
お申込みは1名様ずつのご登録が必要となります。  
過去に当グループ各社のセミナーにお申込みいただいた方、または現在デロイト トーマツのメールマガジンをご購読いただいている方は、ご登録済みのID・パスワードで簡単にお申込みいただけます。

■講師の経歴

**有限責任監査法人 トーマツ : シニアマネジャー 浅井 太郎**

都市銀行において、市場業務並びに事業法人および金融法人営業を担当の後、大手監査法人系コンサルティング会社を経て、2007年に当監査法人に入社。格付制度、リスク管理体制の構築支援等、金融機関向けコンサルティング業務に従事。

2009年4月より金融庁監督局バーゼル 推進室(現健全性基準室)課長補佐。内部格付手法等の承認審査並びにバーゼル 2.5 およびバーゼル の国内実施を担当。銀行勘定の信用リスクアセットの算出方法の整合性を調査するバーゼル委員会の小部会(SIG-BB)のメンバーを務める。

2013年3月に金融庁を退職。同年4月より当監査法人に復職。現在は、国際的な金融規制および内部格付手法等に関するアドバイザー業務に従事している。

**有限責任監査法人 トーマツ : シニアマネジャー 飯野 直也**

当監査法人入社後、金融監査部門にて大手銀行・証券会社の会計監査に従事。

その後、コンサルティング部門にて、リスク管理システムの検証・構築支援やデリバティブ商品の時価評価の検証業務を経験。現在は、リスク管理高度化に対するアドバイス、バーゼル 対応支援、金融機関の国際規制対応などを幅広く実施している。

## <東京 有楽町オフィス>



### Access

- ・ JR 山手線 有楽町駅 日比谷口から徒歩 1 分
- ・ 有楽町線 有楽町駅、千代田線・日比谷線 三田線 日比谷駅 A3 出口から有楽町電気ビル地下 1F 直結

### (問い合わせ先)

有限責任監査法人 トーマツ 金融インダストリーグループ セミナー事務局  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル  
Tel: 03-6213-1163 / Fax: 03-6213-1186  
E-Mail: [FIGseminar@tohatsu.co.jp](mailto:FIGseminar@tohatsu.co.jp)

Web よりお申込みができない方は、セミナー事務局までご連絡ください。

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人および DT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 8,700 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト([www.deloitte.com/jp](http://www.deloitte.com/jp))をご覧ください。

Deloitte (デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド("DTTL")ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTL およびそのメンバーファームについての詳細は [www.deloitte.com/jp/about](http://www.deloitte.com/jp/about) をご覧ください。